

三重県重点施策説明及び意見交換会の実施

日 時：平成 26 年 4 月 25 日（金）

三重県町村会では、毎年、年度当初に三重県重点施策の説明を受けるとともに、施策に対する副知事との意見交換会を実施している。本年度は、4月25日（金）の理事会（全15町長で構成）終了後に、三重県市長会の協力のもと、初の合同開催で実施した。

平成26年度の三重県当初予算は、対前年度比2.2%増の6,901億円で編成されており、重点施策のポイントは、「少子化対策」、「グローバル化への対応」、「三重ブランドカアップ ver.2」、「中小企業・小規模企業の振興」、「県民の命を守る緊急的な取組」などが柱となっている。



まず、開会にあたり田中四日市市長及び石垣副知事があいさつし、副知事からは、県民カビジョンに基づいての事業に取り組んでいくことや、そのために市町とは説明不足のないように連携していきたいと発言があった。

その後の施策説明については、地域連携部長の進行のもとで次の施策の説明がなされた。

【総務部】

○平成 26 年度三重県当初予算について

【南部地域活性化局】

○南部地域の活性化に向けた取組について

○熊野古道世界遺産登録 10 周年の取組について

【雇用経済部】

○三重県中小企業・小規模企業振興条例について

【子ども・家庭局】

○三重県の少子化対策について

【教育委員会】

○教育委員会制度改革及び土曜日授業運営について

【医療対策局】

○医療・介護の財政支援制度について

市町長からは、少子化対策は、国として一番に取り組むべき問題と思っている。希望と現実のギャップを埋めることは困難であるが、市町も力を入れて取り組んでいることから、予算の更なる充実が必要であると提言がされた。

これに対し医療対策局長からは、平成 26 年度は交付金事業となっているが、基金などの使い勝手のよいものにするよう知事からも国に要望しているので、恒久的なものになるように引き続き働きかけていく旨の発言があった。

なお、県部局から出席の職員は以下のとおりである。(敬称略・建制順)

○副 知 事	石 垣 英 一
○総 務 部 長	稲 垣 清 文
○医 療 対 策 局 長	佐々木 孝 治
○子 ども ・ 家 庭 局 長	西 城 昭 二
○地 域 連 携 部 長	水 谷 一 秀
○南 部 地 域 活 性 化 局 長	森 下 幹 也
○雇 用 経 済 部 長	廣 田 恵 子
○教 育 長	山 口 千 代 己